

令和7年度

学生募集要項

一般選抜

文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]

看護学部 看護学科

社会福祉学部 社会福祉学科

健康栄養学部 健康栄養学科

	前期日程	後期日程
出願期間	1月27日(月)～2月5日(水)	
試験日	2月25日(火)	3月12日(水)
	2月26日(水)	3月13日(木)
合格者発表	3月8日(土)	3月21日(金)
入学手続期間	3月9日(日)	3月22日(土)
	～3月15日(土)	～3月27日(木)



出願書類を郵送する前に、31ページの「必要書類一覧チェックリスト」を必ず確認してください。

目 次

1. アドミッション・ポリシー	1
2. 募集人員	9
3. 出願資格	9
4. 出願手続	10
5. 受験及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談	12
6. 選抜方法	12
7. 合格者発表	14
8. 入学手続	15
9. 追加合格	16
10. 納入金（令和6年度実績）	16
11. インターネットによる情報提供	17
12. 入学試験成績情報の提供	18
13. その他	18

前期日程

1. 大学入学共通テストの利用教科・科目等	21
2. 個別学力検査等の実施日時及び教科・科目等	22
3. 配点	23
4. 採点評価基準	23
5. 合否判定基準及び合計点が同点の場合の順位決定方法	24

後期日程

1. 大学入学共通テストの利用教科・科目等	26
2. 個別学力検査等の実施日時及び教科・科目等	27
3. 配点	27
4. 採点評価基準	28
5. 合否判定基準及び合計点が同点の場合の順位決定方法	28

前期日程及び後期日程共通

令和7年度高知県立大学一般選抜における旧教育課程履修者等に対する経過措置について	29
14. 試験会場位置略図	30
15. 必要書類一覧チェックリスト	31

1. アドミッション・ポリシー

高知県立大学のアドミッション・ポリシー

高知県立大学は、幅広い教養及び高度な専門知識、豊かな人間性を備え、地域はもとより広く国内外で活躍することができる能力を有するとともに、平和を希求し、社会に貢献することができる人材の育成をめざしています。
したがって、本学では、次のような人を求めています。

求める学生像

- 1 目標を持って主体的かつ積極的に学び、行動できる人
- 2 豊かな人間性を備え、他者を尊重し、共に学び合おうとする人
- 3 高知県立大学での学びを活かし、地域社会や国際社会への貢献をめざす人

各学部の3つのポリシー

(1) 文化学部

アドミッション・ポリシー	<p>文化学部は、人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民を養成します。</p> <p>したがって、文化学部では、次のような人を求めています。</p> <p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人文・社会系諸科学を理解する上で必要な基礎的素養、すなわち高等学校等で履修する主要な教科に関する十分な基礎学力を有している人〔知識・理解力〕 2 高等学校等で履修した幅広い基礎的素養を基に、物事を論理的に思考・判断し、これを言語によって適切に表現する能力を備えている人〔思考力・判断力・表現力〕 3 人間・社会に広く関心を持ち、言語、地域、観光、法学などの視点から人文・社会系諸科学の専門的知識を身につけたいと考えている人〔関心・意欲・主体性・協働性〕 4 人間に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を体得し、現代社会の諸課題を主体的に発見・分析・解決するために必要な学習に意欲のある人〔関心・意欲・主体性・協働性〕 5 将来、地域社会・国際社会の幅広い分野で豊かな共生社会の実現に向けて活動したいと考えている人〔関心・意欲・主体性・協働性〕 <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>・一般選抜（前期日程）</p> <p>大学入学共通テストと小論文を課します。大学入学共通テストでは、基礎学力を把握するため、国語、外国語及び受験者が自由に選択できる1教科の計3教科3科目を課します。小論文では、高等学校等での基礎学力を前提に、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力、併せて英語の読解力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>・一般選抜（後期日程）</p> <p>大学入学共通テストと面接を課します。大学入学共通テストでは、基礎学力を把握するため、国語、英語及び受験者が自由に選択できる1教科の計3教科3科目を課します。面接では、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。面接者は調査書も参考にして質問します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>文化学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通教養教育科目」と「専門教育科目」を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 共通教養教育科目 <ol style="list-style-type: none"> (1) 共生社会の市民の素養を身につけるため、コミュニケーションスキル（リテラシー科目）、数理・データサイエンス・人工知能（AI）の基礎的な知識・技能（データサイエンス科目）、諸科学の基本的な知識（教養基礎科目）、地域社会や国際社会の課題（課題別教養科目）、生涯にわたる健康の維持・増進のための知識・技能（健康スポーツ科目）、地域課題への実践的取り組み（域学共生科目）を学ぶ科目群を設置する。

カリキュラム・ポリシー	<p>(2) 英語コミュニケーションは1、2年次必修とし、域学共生科目中の基礎的科目は必修、応用的科目は選択とする。他の科目は各自の興味・関心に応じて選択して履修させる。</p> <p>(3) 可能な限り少人数で、アクティブラーニングの手法を取り入れ、個々の科目の特性や内容に応じた多様な形式で授業を実施し、きめ細かな学修評価を行う。</p> <p>2 専門教育科目 専門教育科目には、学部共通科目と学部専門科目を置く。</p> <p>(カリキュラムの構造・教育内容)</p> <p>(1) 学部での学びの基礎的能力及びコミュニケーション能力を身につけるためのリテラシー科目、学部教育の基礎となる知識を身につけるためのエッセンシャル科目、就業力を高めるためのキャリア形成科目から成る学部共通科目を設置する。</p> <p>(2) 人文・社会系諸科学の専門的知識を幅広くかつ体系的に体得するために、言語文化系（英語学領域、国際文化領域、日本語学領域、日本文学領域）、地域文化創造系（地域文化領域、地域づくり領域、観光文化領域、観光まちづくり領域、現代法文化領域、生活法文化領域）、文化総合系（言語文化系及び地域文化創造系の教育内容を総合的に学ぶ）の3つの系から成る学部専門科目を設置する。</p> <p>(3) 専門的な知識・理解をより深め、専門的な研究手法を学ぶために各領域に専門演習を設置し、また、学部教育で体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、必要な情報の収集とその的確な整理・分析を通じて、能動的かつ自律的に現代社会の諸問題を発見し、これを解決する能力を養うために課題研究ゼミナールを設置する。</p> <p>(4) この他、中学校・高等学校（国語、英語）の教職課程を設置する。</p> <p>(履修方法・順序) 学部共通科目は、主に1、2年次に履修する。学部専門科目は、主に2～4年次に履修する。各領域の専門演習及び課題研究ゼミナールは、3、4年次に履修する。</p> <p>(教育方法)</p> <p>(1) 『文化学部カリキュラム構成図』『文化学部カリキュラム・ツリー』『文化学部履修モデル』を提示し、履修指導を行う。</p> <p>(2) 学部共通科目及び学部専門科目では、学生が能動的に学習するよう多様な教育方法を取り入れる。学部共通科目の基礎演習、各領域の専門演習及び課題研究ゼミナールは、少人数による演習形式で行い、課題研究ゼミナールでは学部教育の集大成として卒業研究を仕上げる。</p> <p>(評価) 学部のディプロマ・ポリシーに基づいて各授業科目の達成目標を定め、達成目標及び成績評価の基準・方法を学生に周知し、それに基づいて成績評価を行う。さらに学生による教育に関する評価結果も踏まえて、カリキュラムの評価・改善を図り、教育の質の保証に努める。</p>
ディプロマ・ポリシー	<p>人文・社会系諸科学の知識を身につけ、多様な社会や文化を理解し、豊かな共生社会の実現、新たな文化の創造及び自律した自己の成長を追求することを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。</p> <p>(知識・理解)</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広い教養と人文・社会系諸科学の基本的な知識を身につけ、多様な文化に関して多角的な視点から理解することができる。 言語文化系と地域文化創造系を中心とする人文・社会系諸科学の専門的知識を体系的に理解し、その知識体系を自らの問題意識の中に位置づけることができる。 <p>(汎用的・実践的技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会や文化に関する深い洞察に基づいて、日本語や外国語による高度な文章表現能力・他者との円滑なコミュニケーション能力・グローバルな情報発信能力を身につけている。 必要な情報を幅広く収集し、的確に整理・分析することを通じて、その問題を解決できる能力を身につけている。 <p>(態度・志向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> 豊かな共生社会の実現に向けて、能動的かつ自律的に地域社会・国際社会の諸問題の解決に取り組むことができる。 社会や文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

- 7 これまでに得た知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想のもとで新たな文化を創造することに貢献するとともに、自律した個人としての自己の成長を追求することができる。

(2) 看護学部

アドミツション・ポリシー	<p>看護学部は、豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を持った人材を養成します。</p> <p>したがって、看護学部では、次のような人を求めています。</p> <p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広い文系・理系の基礎的学力をもつ人〔知識・教養〕 人間、生活、社会を深く理解する力をもつ人〔思考力・判断力〕 ものごとを論理的に考える力をもつ人〔思考力・判断力〕 生涯にわたって学び続ける力をもつ人〔関心・意欲〕 自分で課題を発見し、計画を立て積極的に取り組む力をもつ人〔主体性〕 他者を尊重し、協働してものごとに取り組む力をもつ人〔実行力・協働性〕 <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>・一般選抜（前期日程）</p> <p>大学入学共通テストにより看護学を学ぶ上で必要な基礎的学力を、個別学力検査等（小論文、面接）により人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。</p> <p>・一般選抜（後期日程）</p> <p>大学入学共通テストにより看護学を学ぶ上で必要な基礎的学力を、個別学力検査等（面接）により人間や生活・社会、健康や看護などへの関心や思考力、判断力、看護を学ぶことに関する意欲、主体性、実行力、協働性を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>看護学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通教養教育科目」と「専門教育科目」を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 共通教養教育科目 <ol style="list-style-type: none"> 共生社会の市民の素養を身につけるため、コミュニケーションスキル（リテラシー科目）、数理・データサイエンス・人工知能（AI）の基礎的な知識・技能（データサイエンス科目）、諸科学の基本的な知識（教養基礎科目）、地域社会や国際社会の課題（課題別教養科目）、生涯にわたる健康の維持・増進のための知識・技能（健康スポーツ科目）、地域課題への実践的取り組み（域学共生科目）を学ぶ科目群を設置する。 英語コミュニケーションは1、2年次必修とし、域学共生科目中の基礎的科目は必修、応用的科目は選択とする。他の科目は各自の興味・関心に応じて選択して履修させる。 可能な限り少人数で、アクティブラーニングの手法を取り入れ、個々の科目の特性や内容に応じた多様な形式で授業を実施し、きめ細かな学修評価を行う。 共通教養教育科目により、看護の対象である人間を総合的に理解し、グローバルにものごとや社会を捉える能力、豊かな人間性と感受性を培う。 専門教育科目 <p>専門教育科目は、看護を展開する上で必要となる専門的知識、技術、科学的思考、問題解決能力、国際性・学際性を修得するために、「専門基礎科目」「看護基礎科目」「看護臨床科目」「総合科目」を置く。</p> <p>(カリキュラムの構造・教育内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門基礎科目は、人間の健康と疾病の成り立ちや治療に関する専門的知識や、個人・家族・地域の連続性の中で人々の健康を理解するための知識の修得を目指した科目を置く。

カリキュラム・ポリシー	<p>(2) 看護基礎科目は、看護学の概念や基礎的な知識を学び、看護の対象理解、看護者としてのものの見方や考え方、看護技術の修得を目指した科目を置く。</p> <p>(3) 看護臨床科目は、共通教養教育科目、専門基礎科目、看護基礎科目での学びを基盤とする人間の総合的な理解をふまえ、人々の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を尊重しながら、科学的思考、問題解決能力を用いて健康問題を解決し、健康的な生活の向上をはかるための看護を展開する能力を養うことを目指した科目を置く。</p> <p>(4) 総合科目は、看護専門職者としてのアイデンティティを培うとともに、地域の健康課題を予測し、主体的、積極的に学ぶ姿勢を持ち、国際的・学際の見地に立って、研究的な視点で看護の本質を探究していく基礎的能力を養うための科目を置く。</p> <p>(履修方法・順序)</p> <p>(1) 入学後早期より、看護学への関心を高め、専門的知識と技術を修得するための看護基礎科目と、看護の対象である人間を理解する基礎となる知識を修得するための専門基礎科目を平行して学びながら、学年進行に従って基礎から応用へと専門性を深めることができる構成とする。</p> <p>(2) 看護基礎科目、専門基礎科目を基盤として、人間の発達段階や健康レベル、個と集団など多様な対象への看護を展開する能力を修得するために、看護臨床科目では各専門領域の看護に関する知識と技術を学び、臨地実習科目で応用、統合できる構成とする。</p> <p>(3) 学内で学んだ知識、技術を体系的に実践に活かすことができるように、臨地実習科目の履修にあたっては、履修要件を設ける。</p> <p>(4) 看護専門職者として主体的に学ぶ姿勢と倫理観を養うことができるように、4年間を通して、総合科目を配置する。また、4年次には、看護基礎科目、専門基礎科目、看護臨床科目での学修を通して学んだ知識と技術を統合し、より深い専門性と看護の本質を探究する能力を修得できるように、総合看護実習や看護研究などの総合科目を配置する。</p> <p>(教育方法)</p> <p>(1) 本学部のディプロマ・ポリシーに沿う能力を、学生が将来を見据えて修得できるように、『看護学部のカリキュラム構成図』『看護学部カリキュラム・ツリー』『看護学部履修モデル』を提示し、履修指導を行う。</p> <p>(2) 本学部のディプロマ・ポリシーに沿う能力を学生が修得できるように、多彩な教育方法を用いる。事前課題、事後課題、グループワーク、グループ討議、アクティブラーニング等により、学生が主体的に学ぶ方法を取り入れる。さらに、学生が知識を活用して分析し判断する力、知識と技術を統合し適切な看護ケアを考え実践する能力を高めるために、シミュレーション教育、少人数教育を行う。科学的論理的思考、新たな看護の知を創造する力を養うために、グループで看護研究を行う。また、学生が主体的に自己学習できるように、教育環境を整える。</p> <p>(評価)</p> <p>各講義科目・演習科目・実習科目では、本学部のディプロマ・ポリシーに沿った達成目標及び成績評価の方法・基準を、授業概要・実習要項により周知し、評価を行う。卒業時には、ディプロマ・ポリシーに基づいて評価を行う。さらに学生によるカリキュラム評価を行い、その結果に基づいて、カリキュラムの評価・改善を図り、教育の質の保証を行う。</p>
ディプロマ・ポリシー	<p>看護学部は、豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を獲得することを目指し、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。</p> <p>(汎用的・実践的技能)</p> <p>2 個人・家族・地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。</p> <p>3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。</p> <p>(態度・志向性)</p> <p>4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。</p> <p>(総合的な学習経験と創造的思考力)</p> <p>5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。</p> <p>6 国際的・学際の見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。</p>

(3) 社会福祉学部

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">アドミツション・ポリシー</p>	<p>社会福祉学部は、福祉の現代的課題に対応する、深い人間理解や人権尊重の精神に裏打ちされた専門的知識と実践的知識と実践的スキルを教授研究することにより、共感する心と豊かな人間性をもって、社会生活で生じるさまざまな問題に主体的に対応できる福祉的実践能力を修得させ、社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる有為な人材を養成します。</p> <p>したがって、社会福祉学部では、次のような人を求めています。</p> <p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校等で学ぶ基本的な科目の学力を有する人〔知識・教養〕 2 人に対して関心を持ち、協調性を大切に柔軟に行動できる人〔思考力・判断力・表現力〕 3 自ら行動することによって、課題の発見や分析を行うことができる人〔思考力・判断力・表現力〕 4 地域や家族の福祉課題に関心を持ち、その解決方法を学びたい人〔熱意・意欲〕 5 他者と協働して、人々の生活を支え、よりよい地域社会を創造したい人〔熱意・意欲、主体性・協働性〕 <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>・一般選抜（前期日程）</p> <p>基礎学力の把握のため、学部が指定する大学入学共通テスト教科・科目を課すとともに、個別学力検査等では面接を行います。面接は、課題図書の内容を中心とした個別形式で行います。面接では、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。</p> <p>・一般選抜（後期日程）</p> <p>基礎学力の把握のため、学部が指定する大学入学共通テスト教科・科目を課すとともに、個別学力検査等では面接を行います。面接は、自己PR書の内容を中心とした個別形式で行います。面接では、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。面接者は、調査書も参考にして質問します。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">カリキュラム・ポリシー</p>	<p>社会福祉学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通教養教育科目」と「専門教育科目」を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 共通教養教育科目 <ol style="list-style-type: none"> (1) 共生社会の市民の素養を身につけるため、コミュニケーションスキル（リテラシー科目）、数理・データサイエンス・人工知能（AI）の基礎的な知識・技能（データサイエンス科目）、諸科学の基本的な知識（教養基礎科目）、地域社会や国際社会の課題（課題別教養科目）、生涯にわたる健康の維持・増進のための知識・技能（健康スポーツ科目）、地域課題への実践的取り組み（域学共生科目）を学ぶ科目群を設置する。 (2) 英語コミュニケーションは1、2年次必修とし、域学共生科目中の基礎的科目は必修、応用的科目は選択とする。他の科目は各自の興味・関心に応じて選択して履修させる。 (3) 可能な限り少人数で、アクティブラーニングの手法を取り入れ、個々の科目の特性や内容に応じた多様な形式で授業を実施し、きめ細かな学修評価を行う。 2 専門教育科目 <p>(カリキュラムの構造・教育内容)</p> <p>専門教育科目については、ソーシャルワークを基礎として、介護福祉や精神保健福祉分野にも関連する人権や社会正義の価値に裏打ちされた社会福祉学の専門的及び実践的な知識・技術を修得するために11科目群を設定している。科目群を構成する科目については、基礎から応用・発展段階へと連続的に配置している。</p> <p>基礎段階では、11科目群のうち、「基本科目」・「社会福祉制度科目」・「からだところの理解科目」を置いている。基礎及び応用段階に属する科目群として、「ソーシャルワーク基礎科目」・「介護福祉理解科目」を置いている。加えて応用段階では、科目群として、「地域・国際福祉科目」・「社会復帰支援科目」を置いている。応用及び発展段階に属する科目群として、「ソーシャルワーク実践科目」・「介護福祉実践科目」・「精神保健福祉実践科目」・「総合科目」を置いている。</p> <p>(履修方法・順序)</p> <p>基礎段階の科目は、主に1～2年次に履修する。応用段階の科目は、主に2～3年次に履修する。発展段階の科目は、主に3～4年次に履修する。また、社会福祉領域におけるソーシャルワークに必要な知識と技術を担保する前提となる資格として、社会福祉士国家</p>

カリキュラム・ポリシー	<p>試験受験資格を位置づけており、加えて、希望により介護福祉士国家試験受験資格又は精神保健福祉士国家試験受験資格も取得することができる。</p> <p>(教育方法)</p> <p>(1) 『社会福祉学部カリキュラム構成図』『社会福祉学部カリキュラム・ツリー』『社会福祉学部履修モデル』を提示し、履修指導を行う。</p> <p>(2) 各科目については、事前・事後課題、グループ討議、リアクションペーパーなどを取り入れ、アクティブラーニングを重視した教育方法により展開する。特に応用段階及び発展段階の各科目では、基礎段階で学んだ知識・技術を定着・深化させ、専門職としての社会福祉実践に求められる総合的な知識・技術や社会福祉学を探究する力を身につけるために、少人数での演習・実習形式を積極的に取り入れる。</p> <p>(評価)</p> <p>学部のディプロマ・ポリシーに基づいて各授業科目の具体的な到達目標を定め、成績評価の基準・方法と共に学生に周知している。各段階及び各科目の特性に応じた多面的な評価方法を取り入れ、社会福祉専門職にふさわしい資質能力を獲得できたかについて、科目ごとに定める評価項目と基準に沿った成績評価を行う。さらに学生による教育に関する評価結果に基づいて、カリキュラムの改善を図り、教育の質の保証を行う。</p>
ディプロマ・ポリシー	<p>共生社会を志向する市民としての素養を基礎に、社会福祉専門職として必要な価値・知識・技術を獲得することを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>1 現代社会で暮らす人々のニーズに対応する幅広い教養を基盤として、社会福祉の専門的知識を体系的に理解することができる。</p> <p>2 人々の生活を人間と環境の両側面から理解し、個々におかれている状況から普遍的な福祉課題までに対応する実践的な知識を身につけている。</p> <p>(汎用的・実践的技能)</p> <p>3 多様化・複雑化する福祉ニーズを科学的視点で捉え、個人が抱えている課題を社会との関係において把握することができる。</p> <p>4 コミュニケーションスキルを用いて、福祉課題の解決に必要な情報を収集・分析し、複眼的・論理的に検討したうえで、課題解決の方策を提案することができる。</p> <p>(態度・志向性)</p> <p>5 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、人々の生活の安寧と質の向上に貢献することができる。</p> <p>6 ノーマライゼーションを基本的視点として、人権や社会正義の観点から福祉課題に主体的に対応する志向性を身につけている。</p> <p>(総合的な学習経験と創造的思考力)</p> <p>7 個人の尊厳と福祉理念を重視し、権利擁護に向けた支援を創造的・科学的に展開することができる。</p> <p>8 総合的な視野を持って、保健・医療・福祉の専門職と連携しながら社会福祉を実践することを通して、専門職としての自己の成長を追求することができる。</p>

(4) 健康栄養学部

アドミッション・ポリシー	<p>健康栄養学部は、人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できる栄養や食生活の専門家を養成することを目的としています。</p> <p>したがって、健康栄養学部では、次のような人を求めています。</p> <p>求める学生像</p> <p>1 地域社会や人間、健康そして「食」に対して興味・関心を持ち、さらにこれらを探求する意欲のある人〔関心・意欲〕</p> <p>2 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢をもつ人〔主体性〕</p> <p>3 健康栄養学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき理系科目も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人〔知識・教養〕</p> <p>4 幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに論理的な思考によって適切に判断できる人〔思考力・判断力〕</p>
--------------	---

アドミニレーション・ポリシー	<p>5 社会の一員であることを自覚し、他人の立場にたって考えることができ、コミュニケーション能力がある人〔表現力・協働性〕</p> <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>・一般選抜（前期日程）</p> <p>大学入学共通テストの国語・数学・理科・外国語を課すとともに、個別学力検査等では、面接を行います。面接は、プレゼンテーション形式で行い、受験者は与えられたテーマに関して自分の考えを決められた時間内でまとめて、発表（プレゼンテーション）します。面接者は、調査書も参考にして質問し、関心・意欲、知識・教養、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性を評価します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>健康栄養学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通教養教育科目」と「専門教育科目」を置く。</p> <p>1 共通教養教育科目</p> <p>(1) 共生社会の市民の素養を身につけるため、コミュニケーションスキル（リテラシー科目）、数理・データサイエンス・人工知能（AI）の基礎的な知識・技能（データサイエンス科目）、諸科学の基本的な知識（教養基礎科目）、地域社会や国際社会の課題（課題別教養科目）、生涯にわたる健康の維持・増進のための知識・技能（健康スポーツ科目）、地域課題への実践的取り組み（域学共生科目）を学ぶ科目群を設置する。</p> <p>(2) 英語コミュニケーションは1、2年次必修とし、域学共生科目中の基礎的科目は必修、応用的科目は選択とする。他の科目は各自の興味・関心に応じて選択して履修させる。</p> <p>(3) 可能な限り少人数で、アクティブラーニングの手法を取り入れ、個々の科目の特性や内容に応じた多様な形式で授業を実施し、きめ細かな学修評価を行う。</p> <p>2 専門教育科目</p> <p>国際性及び社会性を持った管理栄養士を養成するために、「基礎科目」「専門基礎分野」「専門分野」の3科目群を置く。それぞれの科目群を構成する科目については、基礎から応用・発展段階へと連続的に配置する。</p> <p>(カリキュラムの構造・教育内容)</p> <p>(1) 基礎科目の科目については、他の専門教育科目を履修する上で必要な予備知識や基礎学力を向上させるための補完科目として設置する。</p> <p>(2) 専門基礎分野の科目については、専門分野における知識や技術を修得するための基盤を身につけるために設置する。専門基礎分野を3つの科目群に分け、それぞれ「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」を教育内容として位置づける。「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」と「食べ物と健康」の科目群によって、人間や生活についての理解を深めさせ、「社会・環境と健康」の科目群によって、社会や環境、健康と食生活について理解させる。</p> <p>(3) 専門基礎分野の中に、それぞれの教育内容の理解を深めるとともに必要な技能を修得することを目的として、「実験・実習」科目を設置する。</p> <p>(4) 専門分野の科目については、様々な領域において管理栄養士や栄養教諭としての専門性を高めるために設置する。専門分野を主に6つの科目群に分け、それぞれ「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」を教育内容として位置づけるとともに、専門分野を横断して、栄養評価や栄養管理が行える総合的な能力を養うことを目的とした「総合演習」科目を設置する。</p> <p>(5) 専門分野の中に、管理栄養士として必要な技能を修得することを目的として、「実験・実習」科目を設置する。</p> <p>(6) 専門分野の「実験・実習」科目の中に「臨地実習」科目を設置し、実践活動の場で課題を発見し、それを解決することを通して、他者とのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけるとともに、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る。</p> <p>(7) この他、企業や公共団体等において、その事業内容に応じた社会体験を行う「企業実習」と、一連の研究プロセスを経験することで、課題を解決する能力を身につけるための「卒業研究」を設置する。</p> <p>(履修方法・順序)</p> <p>(1) 基礎科目は、1年次に履修する。</p> <p>(2) 専門基礎分野のうち「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」と「食べ物と健康」の科目は、主に1、2年次に履修する。「社会・環境と健康」の科目は、主に3年次に履修する。</p> <p>(3) 専門分野の科目については、主に2、3年次に履修する。</p> <p>(4) 専門分野の「臨地実習」科目は、3年次に履修する。</p> <p>(5) 「企業実習」と「卒業研究」は、4年次に履修する。</p>

カリキュラム・ポリシー	<p>(教育方法)</p> <p>(1) 専門教育科目に、共通教養教育科目のうちの必修科目と履修を推奨する選択科目を加えた『健康栄養学部カリキュラム構成図』『健康栄養学部カリキュラム・ツリー』『健康栄養学部履修モデル』を提示し、履修指導を行う。</p> <p>(2) 「実験・実習」科目以外の基礎科目、専門基礎分野、専門分野の科目は、事前・事後課題を与える他、グループワークや演習等により、学生が主体的に学ぶ方法を取り入れる。</p> <p>(評価)</p> <p>各授業科目では、達成目標を定め、達成目標並びに成績の評価方法と評価基準を学生に周知し、それに基づき成績を評価する。学生の「授業評価アンケート」による授業評価と、卒業前に行う「管理栄養士専門的能力到達度アンケート」による学生の自己評価の2つの評価に基づいてカリキュラムの評価・改善を図ることで、教育の質の保証に努める。</p>
ディプロマ・ポリシー	<p>豊かな教養と社会の諸問題に取り組む態度を身につけ、人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できることを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。</p> <p>(知識・理解)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。 2 健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。 <p>(汎用的・実践的技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。 4 管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。 <p>(態度・志向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。 <p>(総合的な学習経験と創造的思考力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。 7 健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。

2. 募集人員

本学は、「前期日程」及び「後期日程」によりそれぞれ入学者を募集する「分離分割方式」で次のとおり行います。ただし、健康栄養学部は、「後期日程」を実施しません。

なお、「前期日程」と「後期日程」の併願はできますが、同日程での併願はできません。

(単位：人)

学部・学科等	募 集 人 員					
	一 般 選 抜 (分離分割方式)		学校推薦型選抜		社会人 選 抜	私費外国人 留学生選抜
	前期日程	後期日程	県内	全国		
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	72	10	30	8	若干名	若干名
看護学部 看護学科	45	5	25	5	若干名	若干名
社会福祉学部 社会福祉学科	35	5	20	10	若干名	若干名
健康栄養学部 健康栄養学科	23	—	12	5	若干名	若干名
合 計	175	20	87	28		

3. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、志望学部・学科が定める令和7年度大学入学共通テストの利用教科・科目を受験した者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(ただし、第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- エ 文部科学大臣の指定した者
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの
- カ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者

キ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

<個別の入学資格審査>

上記のキに関する本学の入学資格審査申請期間は、令和6年8月23日（金）をもって終了していますが、大学入学共通テストを受験後、新たに本学の受験を希望する者に限って、令和7年1月20日（月）から1月23日（木）まで申請を受け付けます。

詳細は、入試課（Tel：088-847-8789）まで問い合わせてください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和7年1月27日（月）～2月5日（水）17時（必着）

(2) 出願方法

ア 本学への出願方法はインターネット出願です。出願期間中にインターネット出願サイトより出願登録を行い、期間内に入学検定料の支払いと出願書類の発送（書留速達扱い）を行ってください。

インターネット出願に関する詳細は、本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」内に掲載されている「インターネット出願利用ガイド」よりご確認ください。

イ 期間内必着のため、出願期間後に到着した出願書類は受理しません。郵便事情を十分考慮して発送してください。

(3) 出願先（受付場所）

〒781-8515 高知市池2751番地1

高知県立大学 教育・学生支援部入試課（電話 088-847-8789）

(4) 出願書類等

本学の「前期日程」と「後期日程」の2つの日程に併願する場合においても、**選抜区分毎に出願書類をそろえてください。**

【共通】

書 類	作 成 方 法
志 願 票	<ul style="list-style-type: none"> 入学検定料払込手続完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものを提出してください。 出願する日程に該当する「大学入学共通テスト成績請求票」を、成績請求票貼付欄にはがれないよう全面をのり付けしてください。 <p>（注）誤った日程の成績請求票を貼付すると、両日程とも受験できなくなることがありますので、特に注意してください。</p>
調 査 書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものを提出してください。 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む。）の合格者は、合格成績証明書を提出してください。 <p>※ 卒業後、年数が経過している等の理由で調査書が発行されない場合は、11ページ【調査書が提出できない志願者のみ】に記載の書類を提出してください。</p> <p>（注）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学の「前期日程」と「後期日程」の2つの日程に併願する場合は、それぞれの日程について、1通ずつ提出してください。 証明書等が現姓と異なる場合は、戸籍抄本等、改姓したことを証明する書類を併せて提出してください。

書 類	作 成 方 法
入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17,000 円 ・ 納入方法については、「インターネット出願利用ガイド」をご確認ください。 ※ 前期日程・後期日程の両方に出願する場合、日程ごとに納入する必要があります。

【社会福祉学科後期日程の志願者のみ】

以下の書類を、他の出願書類と併せて提出してください。

書 類	作 成 方 法
自己PR書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」より様式をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものに自書してください。

【調査書が提出できない志願者のみ】

以下の書類を、他の出願書類と併せて提出してください。

なお、高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む。）の合格者は、活動報告書（文化学部前期日程志願者を除く）を提出してください。

書 類	作 成 方 法
卒業証明書及び成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身学校の卒業証明書と成績証明書又は単位修得証明書を提出してください。なお、成績証明書又は単位修得証明書が発行されない場合は、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。
活動報告書 (文化学部前期日程志願者を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習歴や活動歴などを記載してください（<u>文化学部前期日程志願者を除く</u>）。 (記載例) (1) 学業に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> ア 学内での活動内容（「総合的な学習の時間」、部活動、生徒会活動等において取り組んだ課題研究、活動期間等） イ 学外での活動内容（ボランティア活動、各種大会・コンクール、留学・海外経験、活動期間等） (2) 課題研究等に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> ア 課題テーマを選んだ理由 イ 概要・成果 (3) 資格・検定等に関する活動（名称・級・取得等の年月等） (4) その他 ・ A4判縦用紙に横書きで記載してください。（様式自由、字数上限なし） ・ 必ず「活動報告書」と標題を記載し、標題の右下に氏名を記載してください。

(5) 出願上の注意事項

ア 本学の一般選抜後期日程と文化学科〔文化総合系（夜間主コース）〕の社会人選抜（B日程）は、同一日程で試験を実施するため併願できません。

イ 記入にあたっては、黒のボールペン（消せるボールペンは使用しないこと）を用いて、楷書で丁寧に記入してください。

誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し訂正してください。

ウ 出願書類に不備がある場合は、出願を受け付けません。

エ 出願受付後は、志望する学部・学科及び受験科目を変更することはできません。

オ 出願書類受理後には、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、入試課（Tel：088-847-8789）まで速やかに連絡してください。合格通知書、入学手続書類等はすべて出願時に登録された住所に送付します。

カ 出願受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。ただし、大学入学共通テストの受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合は、13,000円を返還します。

キ 出願受付後に、出願資格を有しないことが明らかとなった場合は、失格となります。

ク 入学手続後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

(6) 出願に関する注意事項

- ア 本学の「前期日程」試験に出願した者は、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く。以下同じ。）のうち「前期日程」の大学へ出願することはできません。また、本学の「後期日程」試験に出願した者は、他の国公立大学のうち「後期日程」の大学へ出願することはできません。
- イ 本学の「前期日程」試験に合格し、令和7年3月15日（土）までに入学手続を行った者は、公立大学の「中期日程」、本学並びに他の国公立大学の「後期日程」試験を受験してもその合格者となることはできません。
- ウ 本学を含む国公立大学が実施する学校推薦型選抜の合格者は、本学の個別学力検査等を受験しても、合格者にはなれません。（ただし、当該学校推薦型選抜を実施する国公立大学の定める推薦入学辞退手続により、入学の辞退を許可された場合を除く。）
- エ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、可否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(7) 受験票のダウンロード

受験票は、下記受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトからダウンロードし、カラー印刷のうえ、大切に保管してください。また、試験当日は「大学入学共通テスト受験票」と併せて必ず持参してください。ダウンロードした受験票には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間：令和7年2月10日（月）10時～3月11日（火）17時

5. 受験及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障害を有する等、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者並びに令和7年度大学入学共通テストにおいて受験上の配慮申請をした者は、出願に先立ち、あらかじめ入試課（Tel：088-847-8789）に相談してください。

補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、必ず事前に相談してください。

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

この事前相談は、受験者に大きな負担となったり、他の受験者に比べて不利になったりしないよう配慮するために行うものであり、相談により受験者に不利益を与えるものではありません。

【相談の時期】令和7年1月17日（金）まで

6. 選抜方法

(1) 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績及び本学が実施する個別学力検査等の結果を総合して行います。

詳細について、前期日程は20～24ページ、後期日程は25～28ページのとおりです。

なお、旧教育課程履修者等に対する経過措置については、29ページの「令和7年度高知県立大学一般選抜における旧教育課程履修者等に対する経過措置について」をご覧ください。

(2) 試験期日

【前期日程】令和7年2月25日（火）～2月26日（水）

【後期日程】令和7年3月12日（水）～3月13日（木）

詳しくは、前期日程は22ページ、後期日程は27ページを参照してください。

(3) 試験会場

学部・学科等	試験会場
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	高知県立大学 永国寺キャンパス 高知市永国寺町2番22号 電話 088-821-7105
看護学部 看護学科 社会福祉学部 社会福祉学科 健康栄養学部 健康栄養学科	高知県立大学 池キャンパス 高知市池2751番地1 電話 088-847-8789

(注) 学科によって試験会場が異なりますので、注意してください。

ア 試験会場の位置は、30ページの略図を参照してください。

イ 試験会場の下見は、以下のとおりです。

【前期日程】日 時：令和7年2月24日(月) 13時～17時

【後期日程】日 時：令和7年3月11日(火) 13時～17時

(ア) 永国寺キャンパス

試験会場正面玄関(風除室)に掲示してある配置図により、確認をしてください。ただし、建物内に入ることはできません。

(イ) 池キャンパス

試験会場正面玄関に掲示してある配置図により、確認をしてください。また、試験室のある各棟の入口前まで入ることができます。

(4) 受験上の注意事項

ア 試験室への携行品

(ア) 筆記試験中は、受験票、鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計(大型のものを除く。)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)以外のものを机の上に置いてはいけません。

(イ) 試験中に使用できる時計は、計時機能のみのものに限り、計算や翻訳等の機能を備えた時計を試験室に持ち込むことはできません。また、試験時間中にアラームを使用してはいけません。

(ウ) 試験中は、携帯電話等の電源を切って、かばんに入れておいてください。

イ 受験票

(ア) 試験当日は、必ず「本学の受験票」及び「令和7年度大学入学共通テストの受験票」を持参してください。また、試験会場の建物に入るときは、上記2つの受験票を提示できるように、あらかじめ準備してください。

(イ) 受験票を紛失又は忘れた者は、試験前に各試験室の監督者又は入試スタッフに申し出てください。

(ウ) 休憩時間等で離席する場合は、受験票を必ず携行してください。

※ 受験票は、入学手続、成績開示請求の際に必要なとなりますので、試験後も大切に保管してください。

ウ 遅刻者等

(ア) 筆記試験開始後20分以上遅刻した者は、受験することができません。

(イ) 受験票ダウンロード時に通知する面接開始時刻に遅刻した者は、受験することができません。

(ウ) 志望学部が指定する個別学力検査等の試験科目を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象となりません。

エ 試験室からの退室

筆記試験開始後は、試験室から退室できません。

オ 不正行為

(ア) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した高知県立大学のすべての試験の成績を無効とします。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
- ② カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。
- ⑤ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑥ 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(イ) 上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同じです。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や机の上に置けないものをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

カ その他

(ア) 本学では、受験のための宿泊斡旋は行っていません。

(イ) 池キャンパスは駐車場のスペースに限りがあります。永国寺キャンパスには駐車場がありません。公共交通機関等を利用してください。

(ウ) 試験当日の緊急連絡先は、以下のとおりです。

・永国寺キャンパス（文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]） 電話 088-821-7105

・池キャンパス（看護学科・社会福祉学科・健康栄養学科） 電話 088-847-8789

7. 合格者発表

(1) 発表日時

【前期日程】令和7年3月8日（土）10時

【後期日程】令和7年3月21日（金）10時

(2) 発表方法

ア 高知県立大学池キャンパス玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。

イ 高知県立大学ホームページ (<https://www.u-kochi.ac.jp/>) において、下記の期間、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず本学所定の場所の掲示又は合格通知書で確認してください。

【前期日程】令和7年3月8日（土）10時過ぎ～3月15日（土）17時

【後期日程】令和7年3月21日（金）10時過ぎ～3月27日（木）17時

(注) 永国寺キャンパスでは合格者の受験番号の掲示を行いませんので、注意してください。可否について、電話やメール等による照会には一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

【前期日程】令和7年3月9日(日)～3月15日(土) 17時(必着)

【後期日程】令和7年3月22日(土)～3月27日(木) 17時(必着)

(2) 入学手続方法

ア 入学手続方法は郵送とします。入学手続書類(下記「(4)入学手続書類等(予定)」参照)を封筒に一括して入れ、書留速達扱いで発送してください。

イ 期間内必着のため、入学手続期間後に到着した書類は受理しません。郵便事情を十分考慮して発送してください。

(3) 入学手続先(受付場所)

〒781-8515 高知市池2751番地1

高知県立大学 教育・学生支援部入試課 (電話 088-847-8789)

(4) 入学手続書類等(予定)

詳細は、合格者に別途お知らせします。

書 類	摘 要
大学入学共通テスト 受験票	・ 原本を提出してください。確認後、返却します。
誓 約 書	・ 本学所定の様式で、合格通知書送付時に同封します。
保 証 書	
住民票記載 事項証明書	
卒業証明書	・ 出身学校(高等学校、中等教育学校等)の卒業証明書を提出してください。
学 生 証 暗証番号届	・ 本学所定の様式で、合格通知書送付時に同封します。 ・ 縦4cm×横3cmの写真を1枚貼付する必要があります。
入 学 料	ア 高知県内に住所を有する者(※) 141,000円 イ 上記以外の者 282,000円 (※) 令和6年9月30日以前から引き続き高知県に、本人又はその配偶者、若しくは本人の一親等の親族が住所を有する者に限ります。
保 險 料	学生教育研究災害傷害保険保険料 学研災付帯賠償責任保険保険料 ※ 詳細は、16ページ「10.納入金(1)」参照

(5) 入学手続上の注意事項

ア 期間内必着のため、入学手続期間後に到着した手続書類は受理しません。郵便事情を十分考慮して発送してください。

イ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

ウ 入学手続完了後は、提出書類は返還しません。また、いったん納入した入学料は返還しません。

エ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学への入学手続を行うことはできません。

また、同様に、他の国公立大学への入学手続を完了した者は、これを取り消して本学への入学手続を行うことはできません。

※ 特別な事情により入学手続完了後に入学を辞退する者は、事前に入試課 (Tel: 088-847-8789) に連絡の上、入学辞退届を令和7年3月31日 (月) 17時までに入試課へ提出してください。(提出書類及び入学料は返還しません。)

なお、期日を過ぎて入学辞退届が提出されても、辞退者として取り扱わないので、注意してください。

9. 追加合格

令和7年3月27日 (木) の入学手続締切後、入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加合格を行うことがあります。追加合格を行う場合は、追加合格候補者に、3月28日 (金) 以降に志願票に記載されている「緊急連絡先」へ電話により直接連絡し、本人の意思確認を行います。直ちに本人に電話連絡がとれるようにしておいてください。なお、不在や意思の確認ができない場合は、候補者から除外されます。

追加合格の実施状況は、本学ホームページでお知らせします。詳しくは、17ページの「11. インターネットによる情報提供」を参照してください。

10. 納入金 (令和6年度実績)

納入金については、すべて令和6年度実績です。令和7年度納入金は、変更となる場合があります。

(1) 入学料及び保険料

入学手続の際に、下記の金額の入学料及び保険料を納入する必要があります。

区分	学科等	入学料	保険料		計
			学生教育研究 災害傷害保険	学研災付帯 賠償責任保険	
高知県内に 住所を有する者	看護学科	141,000円	3,370円	2,000円	146,370円
	文化学科 社会福祉学科 健康栄養学科	141,000円	3,300円	1,360円	145,660円
	看護学科	282,000円	3,370円	2,000円	287,370円
上記以外の者	文化学科 社会福祉学科 健康栄養学科	282,000円	3,300円	1,360円	286,660円

(2) 授業料

年額 535,800円 (入学後、前期分を4月に、後期分を10月に各267,900円を分納)

上記の金額が改定されたときは、その額によります。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、在学生にも改定後の授業料が適用されます。

(3) その他納入金

3月31日までに納入するものは、下記のものです。

ア 後援会費	51,000円
イ しらさぎ会費 (全学同窓会費)	15,000円
ウ 学生自治会費	20,000円
エ 看護学部同窓会費 (※看護学部のみ)	15,000円

(4) その他

入学後、教科書代や実験着代等の費用が別途必要となります。また、学科により実験・実習費等の必要経費を別途徴収することがあります。

11. インターネットによる情報提供

令和7年度入試（一般選抜）情報について、下記のとおり本学入試情報ホームページ (<https://www.u-kochi.ac.jp/site/nyushi/>) で公表します。

(1) 出願状況（倍率）

期 間	令和7年1月27日（月）～
情報の更新	毎日18時30分頃更新します。 ただし、土曜日及び日曜日は更新しない場合があります。

(2) 合格者発表（合格者受験番号）

期 間	前期日程	令和7年3月8日（土）10時過ぎ～3月15日（土）17時
	後期日程	令和7年3月21日（金）10時過ぎ～3月27日（木）17時

※必ず公式発表（所定の場所への掲示又は合格通知書）で確認してください。

(3) 追加合格実施状況

期 間	令和7年3月27日（木）20時頃～3月31日（月）
-----	---------------------------

12. 入学試験成績情報の提供

令和7年度一般選抜における個人成績を、次のとおり開示請求することができます。

開示内容	大学入学共通テストの教科別得点（ただし、本学が合否判定に利用した教科のみ）及び本学が実施した個別学力検査等の得点、総合得点、順位（合格者については順位の開示は行いません。）	
開示対象者	受験者全員（本学が実施する個別学力検査等の欠席者を除く。口頭による場合は、法定代理人を含む。）	
請求方法	文書による請求	口頭による請求
期間	令和7年1月27日（月）[出願開始日] ～3月27日（木）（消印有効） ※直接持参は、上記期間の平日9時～17時	令和7年4月16日（水） ～5月15日（木）の平日9時～17時
方法	下記の書類を郵送又は直接持参により提出してください。出願書類と併せて提出することも可能です。 <input type="checkbox"/> 入試情報提供申込書 本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」よりダウンロードすること <input type="checkbox"/> 「本学受験票のコピー」又は「受験者本人と確認できる身分証明書のコピー」（生徒証明書、運転免許証、パスポート等のコピーに本人が署名押印すること） ※出願書類と併せて提出する場合は、不要。 <input type="checkbox"/> 入試情報回答書送付用封筒 定形封筒長形3号（120mm×235mm）に定形封書 25gまでの普通簡易書留料金分の切手を貼付すること 封筒の表面には、郵便番号、住所、氏名を明記し、「入試情報回答書在中」と朱書きすること	入試課窓口 directly 下記の書類を提示し、請求してください。 ・ 受験者本人による請求 <input type="checkbox"/> 「本学受験票」又は「受験者本人と確認できる身分証明書」 ・ 法定代理人による請求 <input type="checkbox"/> 本学受験票 <input type="checkbox"/> 受験者との関係が明示された書類（戸籍抄本等） <input type="checkbox"/> 法定代理人本人を確認できる書類（運転免許証、パスポート等）
回答期間	令和7年4月16日（水） ～5月15日（木）	請求日当日
回答方法	郵送で通知します。	閲覧で開示します。

請求先・閲覧による開示場所

〒781-8515 高知市池2751番地1
高知県立大学 教育・学生支援部入試課 （電話 088-847-8789）

13. その他

(1) 学生寮

詳細は、高知県立大学ホームページ (<https://www.u-kochi.ac.jp/>) で確認してください。

(2) 個人情報の取扱い

この募集要項に基づき提出された出願書類から得られた個人情報は、「高知県個人情報保護条例」に規定する実施機関として、以下の目的に利用します。

ア 入学者選抜業務

イ 合格者については、合格通知業務、入学案内業務及び入学手続業務

ウ 入学者については、学籍簿等の学業から進路に関する管理運営業務及び本学後援会・同窓会・学

生自治会の業務

エ 個人情報を含まない形での統計のための集計・分析

上記の目的のために、個人情報の一部を業務委託により受託者が取り扱う場合には、同条例第14条の規定に基づく必要な措置を義務付けます。

また、第三者には、同条例第10条ただし書きに規定する場合（本人の同意がある場合、法令等の規定に基づく場合、個人の生命等を保護するため緊急かつやむを得ない場合等）を除き提供しません。

なお、同条例第9条に定める利用の制限に関する例外規定に従って、上記の利用目的以外に、本学内において入試制度や大学の改革等のために利用することがあります。

前期日程

文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]

看護学部 看護学科

社会福祉学部 社会福祉学科

健康栄養学部 健康栄養学科

1. 大学入学共通テストの利用教科・科目等

本学が定める大学入学共通テストの利用教科・科目は、次のとおりです。出願する学科の「チェック欄」を使って、すべての欄にチェックがあることを確認してください。

大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。

学部・学科等	利用教科・科目等				チェック欄
	教科・科目数	教科	科目名等		
文教育学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	3教科 3科目	国語	『国語』	必須	
		地歴公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目	
		情報	『情報Ⅰ』		
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』		
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。		
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目	
看護学部 看護学科	5教科 5科目	国語	『国語』	必須	
		地歴公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目	
		情報	『情報Ⅰ』		
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』		
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目	
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目	
社会福祉学部 社会福祉学科	3教科 3科目	国語	『国語』	必須	
		地歴公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目	
		情報	『情報Ⅰ』		
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』		
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。		
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目	

学部・学科等	利用教科・科目等			チェック欄
	教科・科目数	教科	科目名等	
健康栄養学部 健康栄養学科	4教科 4科目	国語	『国語』	必須
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	1科目
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』 *出題範囲である「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」から2つを 選択解答する(「地学基礎」は選択不可)。	1科目
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	1科目

- (備考) 1. 『英語』は「リーディング」・「リスニング」両方を課します。
2. 複数科目受験できる教科を受験した者は、高得点を得ている科目から順に利用科目数を評価の対象とします。

2. 個別学力検査等の実施日時及び教科・科目等

試験会場：永国寺キャンパス

学部・学科等	月 日	試験時間	試験科目等	集合時刻	集合場所
文化学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	2月25日(火)	10:00~12:00	小論文 (注1)	9:30	試験室

試験会場：池キャンパス

学部・学科等	月 日	試験時間	試験科目等	集合時刻	集合場所
看護学部 看護学科	2月25日(火)	9:30~11:00	小論文	9:00	試験室
		13:00~18:00	面接 (本学指定日)		
社会福祉学部 社会福祉学科	2月26日(水)	9:30~18:00		面接 (本学指定日) (注2)	ダウンロードした 受験票の2枚目以降 の連絡事項に記載 しています
		9:40~18:00			
健康栄養学部 健康栄養学科	2月25日(火)	9:30~18:00	面接 (本学指定日) (注3)	ダウンロードした 受験票の2枚目以降 の連絡事項に記載 しています	
		9:30~18:00			

- (注1) 英語の設問を含みます。(辞書持ち込み不可)
(注2) 社会福祉学科では、以下の本を課題図書とし、その内容を中心とした面接を行いますので、あらかじめ読んでおいてください。
課題図書：やなせたかし『新装版 わたしが正義について語るなら』ポプラ新書
ポプラ社 2024年 本体979円(10%税込)
(注3) プレゼンテーションを含みます。

3. 配点

学部・学科等	区 分	国語	地歴	公民	情報	数学	理科	外国語	小論文	面接等	計
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	大学入学共通テスト	200	100					200	—	—	500
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	200	—	200
	計	200	100					200	200	—	700
看護学部 看護学科	大学入学共通テスト ^(注1)	100	100			100	100	100	—	—	700
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	200	100	300
	計	700 (5教科5科目)							200	100	1000
社会福祉学部 社会福祉学科	大学入学共通テスト ^(注2)	100	100					100	—	—	400
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	250	250
	計	400 (3教科3科目)							—	250	650
健康栄養学部 健康栄養学科	大学入学共通テスト	200	—	—	—	200	200	200	—	—	800
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	210	210
	計	200	—	—	—	200	200	200	—	210	1010

(注1) 看護学科は、国語、地歴・公民及び情報^{*}、数学、理科、外国語の5教科のうち、得点の高い2教科を200点に換算します。

^{*}地歴・公民及び情報で1教科とみなします。

(注2) 社会福祉学科は、国語、外国語及び「地歴、公民、情報、数学、理科のうち得点の高い1教科」の3教科のうち、得点の高い1教科を200点に換算します。

(備考) 1 大学入学共通テストの外国語(英語)の得点については、「リーディング得点(満点100点)×1.6」と「リスニング得点(満点100点)×0.4」の合計点を各学科の傾斜配点に換算したものとします。なお、リスニング免除の場合は、「リーディング得点」を各学科の傾斜配点に換算したものとします。

2 各学科において指定した教科・科目数以上を受験した者は、傾斜配点に換算し高得点の教科・科目を利用します。

4. 採点評価基準

学部・学科等	試験科目等	採点評価基準
文化学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	小論文	文化学科で学ぶ上で必要な読解力・論理的思考力・文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識と理解力を総合的に評価します。併せて英語の読解力・表現力を評価するための設問が課されます。評価は複数の採点者で採点し、その平均点とします。
看護学部 看護学科	小論文	人間や健康に関わる現象あるいは論文・評論などを題材とし、看護学科で学ぶ上で必要な思考力・判断力を総合的に評価します。評価は複数の採点者で採点し、その平均点とします。
	面接	人間や生活・社会、健康に関する質問を行い、看護学科で学ぶ上で必要な思考力・判断力・看護に対する関心・意欲・主体性について評価します。複数の面接者の評価を点数化し、その平均点を得点とします。
	調査書 (活動報告書)	面接の素材として利用します。点数化は行いません。

学部・学科等	試験科目等	採点評価基準
社会福祉学部 社会福祉学科	面接	課題図書の内容を中心とした個別面接を行い、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。評価は複数の面接者で行い、点数化します。
	調査書 (活動報告書)	学校内外で意欲的に取り組んだ活動について面接の素材として利用します。点数化は行いません。
健康栄養学部 健康栄養学科	面接	受験者は与えられたテーマに関して自分の考えを決められた時間内でまとめて、発表（プレゼンテーション）します。面接者は、管理栄養士としての適性や能力等を評価するため、この発表に対して質問を行い、その応答能力、プレゼンテーションの方法・内容等について数段階で評価します。テーマは年度ごとに変わります。質問に際しては、調査書も参考にします。複数の面接者の評価を点数化し、その平均点を得点とします。
	調査書 (活動報告書)	面接の素材として利用します。点数化は行いません。

5. 合否判定基準及び合計点が同点の場合の順位決定方法

学部・学科等	合否判定基準及び合計点が同点の場合の順位決定方法
文化学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等（小論文）の得点の合計点により合否を判定します。合計点が同点の場合は同順位とします。
看護学部 看護学科	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等（小論文・面接）の得点の合計点により合否を判定します。合計点が同点の場合は、個別学力検査等の得点が高い者を優先します。
社会福祉学部 社会福祉学科	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等（面接）の得点の合計点により合否を判定します。合計点が同点の場合は、個別学力検査等の得点が高い者を優先します。
健康栄養学部 健康栄養学科	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等（面接）の得点の合計点により合否を判定します。合計点が同点の場合は、個別学力検査等の得点が高い者を優先します。

後 期 日 程

文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]

看護学部 看護学科

社会福祉学部 社会福祉学科

1. 大学入学共通テストの利用教科・科目等

本学が定める大学入学共通テストの利用教科・科目は、次のとおりです。出願する学科の「チェック欄」を使って、すべての欄にチェックがあることを確認してください。ただし、看護学科については、少なくとも3つの欄にチェックがあることを確認してください。

大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。

学部・学科等	利用教科・科目等			チェック欄
	教科・科目数	教科	科目名等	
文化学部 文化学科 〔言語文化系/ 地域文化創造系〕	3教科 3科目	国語	『国語』	必須
		地歴・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	1科目
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
		外国語	『英語』	必須
看護学部 看護学科	3教科 3科目	国語	『国語』	3教科 3科目 (注)
		地歴・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』* *「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
		情報	『情報Ⅰ』	
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』*, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 *「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する。	
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	
社会福祉学部 社会福祉学科	1教科	国語	『国語』	1科目
	1科目	外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』	

(備考) 1 『英語』は「リーディング」・「リスニング」両方を課します。

2 複数科目受験できる教科を受験した者は、高得点を得ている科目から順に利用科目数を評価の対象とします。

(注) 看護学科は、国語、地歴・公民及び情報※、数学、理科、外国語の5教科から、得点の高い3教科3科目を評価の対象とします。

※地歴・公民及び情報で1教科とみなします。

2. 個別学力検査等の実施日時及び教科・科目等

試験会場：永国寺キャンパス

学部・学科等	月 日	試験時間	試験科目等	集合時刻	集合場所
文化学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	3月12日(水)	9:30~18:00	面接 (本学指定日)		ダウンロードした 受験票の2枚目以降 の連絡事項に記載 しています
	3月13日(木)	9:30~18:00			

試験会場：池キャンパス

学部・学科等	月 日	試験時間	試験科目等	集合時刻	集合場所
看護学部 看護学科	3月12日(水)	9:30~18:00	面接 (本学指定日)		ダウンロードした 受験票の2枚目以降 の連絡事項に記載 しています
	3月13日(木)	9:30~18:00			
社会福祉学部 社会福祉学科	3月12日(水)	9:40~18:00	面接(注) (本学指定日)		ダウンロードした 受験票の2枚目以降 の連絡事項に記載 しています
	3月13日(木)	9:40~18:00			

(注) 社会福祉学科の面接では、自己PR書の内容について、3分程度で自由に表現してください。その際に必要があれば、自己の作品、道具等を持参してもかまいません。

ただし、スマートフォン、タブレット型端末、パソコン等の通信を行うことができる電子機器類を使用することはできません。

3. 配点

学部・学科等	区分	国語	地歴	公民	情報	数学	理科	外国語	小論文	面接等	計
文化学部 文化学科 [言語文化系/地域文化創造系]	大学入学共通テスト	200	100					200	—	—	500
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	200	200
	計	200	100					200	—	200	700
看護学部 看護学科	大学入学共通テスト	300(3教科各100点)							—	—	300
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	200	200
	計	300(3教科各100点)							—	200	500
社会福祉学部 社会福祉学科	大学入学共通テスト	*100	—	—	—	—	—	*100	—	—	100
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	—	—	—	200	200
	計	*100	—	—	—	—	—	*100	—	200	300

(備考) 1 大学入学共通テストの外国語(英語)の得点については、「リーディング得点(満点100点)×1.6」と「リスニング得点(満点100点)×0.4」の合計点を各学科の傾斜配点に換算したものとします。なお、リスニング免除の場合は、「リーディング得点」を各学科の傾斜配点に換算したものとします。

2 配点に*を付してある教科は、選択教科を表しています。

3 各学科において指定した教科・科目数以上を受験した者は、傾斜配点に換算し高得点の教科・科目を利用します。

4. 採点評価基準

学部・学科等	試験科目等	採点評価基準
文化学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	面接	言語を適切に用い表現力が豊かであるか、論理的思考力にすぐれ質問に対する判断力が確かであるか、基本的な知識や理解力が十分であるか、という観点を中心に評価します。複数の面接者の評価を点数化し、その平均点を得点とします。
	調査書 (活動報告書)	面接の素材として利用します。点数化は行いません。
看護学部 看護学科	面接	人間や生活・社会、健康に関する質問を行い、看護学科で学ぶ上で必要な思考力・判断力・看護に対する関心・意欲・主体性について総合的に評価します。評価は複数の面接者で行い、点数化します。
	調査書 (活動報告書)	面接の素材として利用します。点数化は行いません。
社会福祉学部 社会福祉学科	面接	提出された自己PR書の内容を中心とした個別面接を行い、社会福祉への熱意・意欲を探り、社会福祉を学ぶ上での適性を判断する観点から、受験者の思考力・判断力・表現力等の様々な能力を総合的に評価します。評価は複数の面接者で行い、点数化します。
	調査書 (活動報告書)	学校内外で意欲的に取り組んだ活動について、面接の素材として利用します。点数化は行いません。

5. 合否判定基準及び合計点が同点の場合の順位決定方法

学部・学科等	合否判定基準及び合計点が同点の場合の順位決定
文化学部 文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等(面接)の得点の合計点により合否を判定します。合格点が同点の場合は同順位とします。
看護学部 看護学科	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等(面接)の得点の合計点により合否を判定します。合計点が同点の場合は、個別学力検査等の得点が高い者を優先します。
社会福祉学部 社会福祉学科	あらかじめ定めた配点に従って計算した大学入学共通テストの得点と本学が行う個別学力検査等(面接)の得点の合計点により合否を判定します。合計点が同点の場合は、個別学力検査等の得点が高い者を優先します。

令和7年度高知県立大学一般選抜における旧教育課程履修者等に対する経過措置について

ア 大学入学共通テストにおける経過措置

旧教育課程履修者等は、旧教育課程による出題科目を選択することができます。受験を要する教科・科目数については、各学部における大学入学共通テストの利用教科・科目数に準じます。

なお、新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目の対応については、別表2のとおりです。

イ 個別学力検査等における経過措置

本学の個別学力検査等は小論文・面接等のため、特別な経過措置は行いません。

(別表1) 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

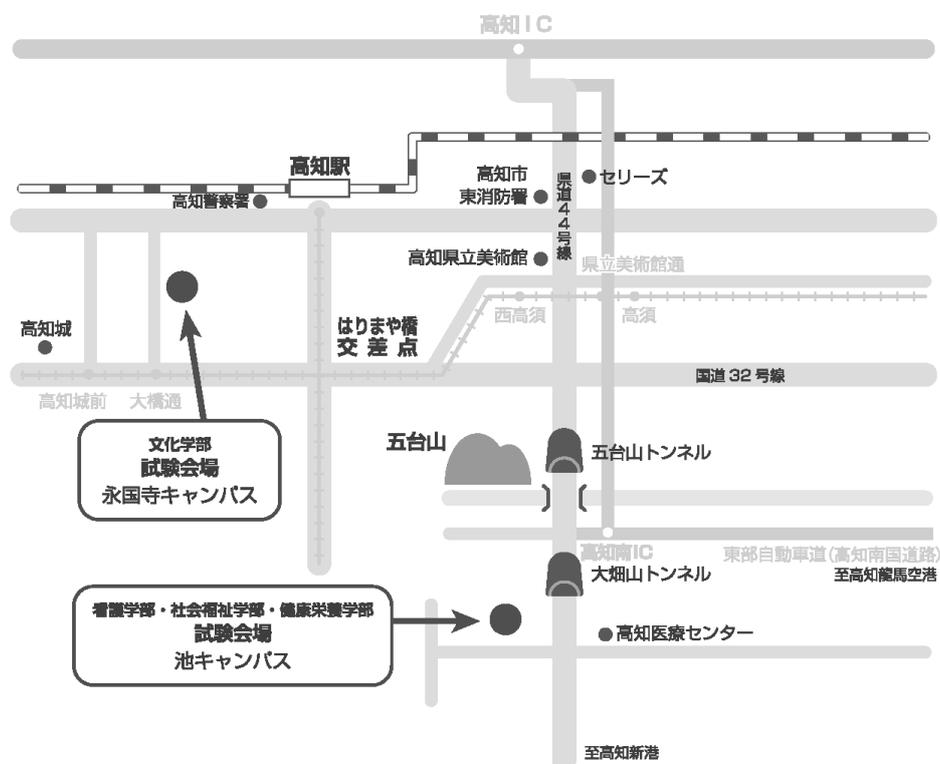
新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等*	上記以外の者 * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

(別表2) 新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目の対応

教科	新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目
地理歴史	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』	『旧世界史A』 『旧世界史B』 『旧日本史A』 『旧日本史B』 『旧地理A』 『旧地理B』
公民	『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』* * 「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答する。	『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理，旧政治・経済』
数学①	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅰ』
数学②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』※ 『旧情報関係基礎』※
情報	『情報Ⅰ』	『旧情報』

※看護学部＜前期日程＞＜後期日程＞及び健康栄養学部＜前期日程＞を志願する者は、『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』を選択することはできません。

14. 試験会場位置略図



～～アクセス方法～～

■池キャンパス

【車で会場入りする場合】

- ・ J R 高知駅から 約 25 分
- ・ 高知東部自動車道（高知南国道路）／高知南 IC（最寄りの IC）から 約 3 分
- ・ 高知龍馬空港から 約 25 分

【バスを利用する場合】

「高知医療センター・高知県立大学・望海ヶ丘」方面行（とさでん交通）で高知県立大学下車。

■永国寺キャンパス

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

- ・ J R 高知駅から
 - 路面電車を利用する場合 約 20 分（「大橋通」電停下車）
 - タクシーを利用する場合 約 5 分
 - 徒歩の場合 約 20 分

バス、路面電車を利用する方は、とさでん交通HP [<https://www.tosaden.co.jp/>] をご確認ください。

15. 必要書類一覧チェックリスト

郵送する前に、封筒内に以下の書類が入っていることを必ず確認してください。

前期日程

出願書類	確認
志願票 (前期日程の「大学入学共通テスト 成績請求票」を成績請求票貼付欄 にのり付けすること)	
調査書	

後期日程

出願書類	確認
志願票 (後期日程の「大学入学共通テスト 成績請求票」を成績請求票貼付欄 にのり付けすること)	
調査書	
自己PR書 (社会福祉学科のみ)	

【調査書が提出できない志願者のみ】

上記書類と併せて下記の書類を提出すること

出願書類	確認
卒業証明書及び 成績証明書	
活動報告書 (文化学部前期日程 志願者を除く)	

【調査書が提出できない志願者のみ】

上記書類と併せて下記の書類を提出すること

出願書類	確認
卒業証明書及び 成績証明書	
活動報告書	

出願・受験・その他に関する問い合わせ先

〒781-8515 高知市池2751番地1
高知県立大学 教育・学生支援部 入試課
電話 088-847-8789
FAX 088-847-8605
E-mail nyushi@cc.u-kochi.ac.jp
URL <https://www.u-kochi.ac.jp/>

受付時間

月～金曜日（祝日を除く） 9時～17時